

関西地本第13回OB会定期総会開催！

関西地本第13回OB会定期総会は、9月23日に大阪弥生会館で約30名の参加をえて開催しました。前段で、東日本大震災と田城議員の国会活動を記録した、DVDを上映し総会に入りました。

林田会長は、関西地本OB会の主な活動として、①7名の会員を増やすことができた。②東日本大震災でOB会員が1名死亡したが、支援活動と232千円の義援金を送った。③原発反対の闘いで上関の現地に参加した。等について、各支部の協力に感謝するとの挨拶ありました。



続いて、来賓として、関西地本定国委員長と全国OB会中村副会長がそれぞれの立場から、①共に闘うOB会の活動を。②東日本大震災の支援・連帯の取り組みの成果。③原発反対の闘いの強化。④25年問題の取り組み。⑤「先達の声」の協力要請。等について、報告と提起がされました。

議事に入り、藤原副会長から活動方針として、①5支部8地区で関西OB会が活動している。②7名の会員が増えた、今後は連携を強化する。③西労OB



会と連携をとり、各地域で退職者連合への加入を追求する。④田城議員後援会の取り組み等が提案され、続いて、原発反対の特別決議が吉岡幹事から提案されました。

その後、各支部から、①少ない人数でやっている。今後も糸魚川など結成に努力していく。②新会員を含め活動内容を広めていく。③OB会情報の発行、平和の取り組み、青年部との交流、レク等の取り組みを進める。など報告と意見が出されました。

最後に、新役員を選出して総会を終了しました。その後、盛大に懇親会を行い、一年分の腹のうちの語り合いました。